

農指導員を配置し、市・県・JAが連携を強化するためである。また、旧宮守総合センターの機能を維持し、地域の集会所として、地域課題の解決や地域振興、農業振興に資するという観点から、この支援は競争原理を歪めることにはならないと考える。



建設途中の花巻農協宮守支店

わな狩猟免許試験の受験や周知について

問 本年7月に、遠野地区合同庁舎で狩猟免許試験が実施されているが、受験し

た人数、うち、市内の受験者数、わなの種類ごとの受験者数は把握しているか。また、受験の費用はいくらか。

答 当市での試験は、全部で7人の受験者数で、市内の人数や免許の区分ごとに把握していない。受験申請の手数料は、県証紙で1件につき5,200円の費用が掛かり、取得後のいろいろな費用は別に発生する。

問 わな免許に関しては、5〜6千円程度であれば一般の方もチャレンジしてみたい人もいるのではないか。被害地域を中心に周知をし、市の補助等もあればもっと取りやすいと思われるが、このような対策の必要性は。

答 狩猟免許の試験は、県内で年3回実施される。駆除実施隊の会議の場合、市の広報、遠野テレビでも周

知はしているが、取得しやすいように市の補助事業もあることから、地域の中に入っていく、今後幅広くPRしながら多くの方に取得してもらいたい形で進めていきたい。

復興道路遠野IC周辺整備調査事業費について

問 事業内容や規模は。

答 遠野ICは平成27年度完成予定だが、風の丘に誘導するための周辺環境整備のための調査をする。風の丘は遠野のさまざまな観光施設や内陸と沿岸を結ぶ道路の発信基地でもある。遠野の玄関口としてのあり方や景観への配慮などを検討する予定である。

問 市単独予算の事業だが関係団体や国、県と連携しているか。また、最終的な事業完了の目標は。

答 釜石道にはサービスマリアがないため、国でも風の丘や市内産直施設等がその役割を果たすものと認識しており、市としても今回の予算で風の丘周辺整備の基本構想をまとめ、関係機関や国、県と連携しながら27年度のIC開通までには環境整備したいと考えている。



遠野インターチェンジ付近の風景

学校づくり協議会の活動状況について

問 中学校再編にともない、文化や郷土芸能について、地域との話し合いはどのようになっているのか。

答 学区部会、新設中学運営計画の中で話し合っているが、土淵、青笹、上郷の学区は郷土芸能団体が集まり話し合いをしたと聞いた。

問 郷土芸能はそれを支える地域と一体になって将来の学校に引き継がれるべきで、郷土芸能の伝承教育がないがしるになりはしないか。

答 中学校再編成方針に郷土芸能伝承があり、それを前提とした運営計画を考えている。

問 実際に指導する団体の意見を汲み取らないと具体的な計画が定まらないと思われる。

答 早急に地域の理解を得るべきだと思うが。

答 教育委員会がリードしながら団体との話し合いを進めていきたい。